

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

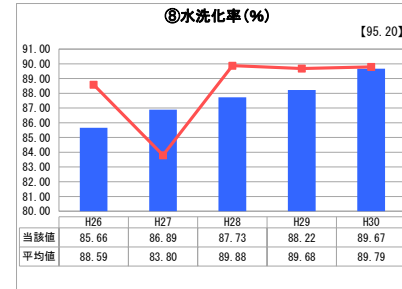
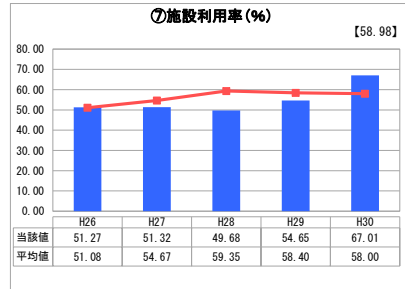
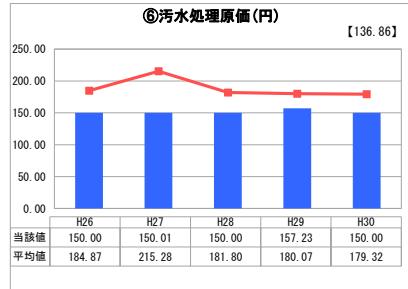
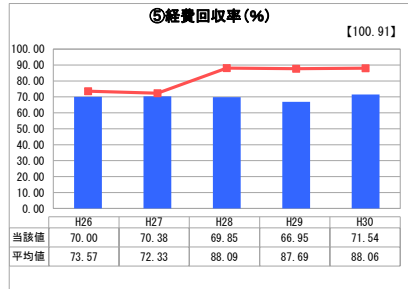
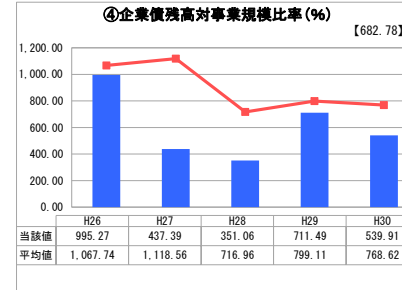
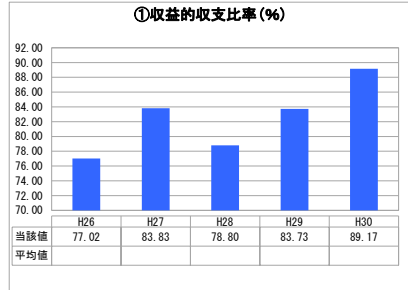
埼玉県 羽生市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	36.46	83.09	1,890

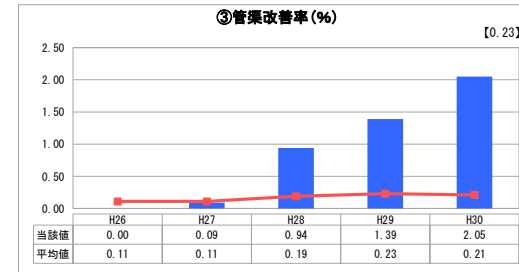
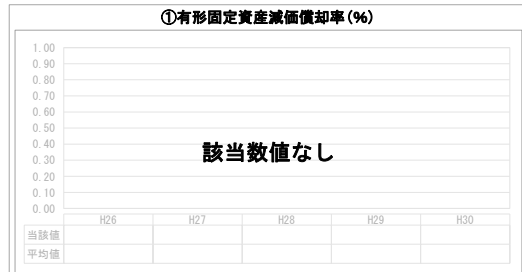
人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
55,112	58.64	939.84
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
20,036	4.14	4,839.61

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率 ⑤経費回収率  
収益的収支比率・経費回収率ともに、100%を下回っています。下水道使用料で賄えておらず、適正な料金水準の改善に努める必要があります。

④企業債残高対事業規模比率  
平成30年度も類似団体の平均値より下回っており、前年度と比較し、残高は減少していますが、施設の改築更新等が続くため増加の傾向にあります。

⑦施設利用率  
大口排水事業所の接続や区画整理事業地内の整備に伴う処理区域の拡大、終末処理場の処理が方式の変更など平成28年度から毎年利用率が上がっています。

⑧水洗化率  
区画整理事業地内の整備の進捗に伴い少ない値ではあるが、毎年水洗化率が上がっている。今後も継続して普及啓発を行っていきます。

### 2. 老朽化の状況について

下水道管渠の標準耐用年数を経過した管はまだない。令和元年度中にストックマネジメント計画を策定する予定。  
終末処理場や中継ポンプ場は、令和2年度からストックマネジメント計画に基づき、計画的に施設の更新を実施していきます。

### 全体総括

経費回収率が適正値である100%より低く推移しており、下水道使用料で賄えておらず、令和2年度策定予定の経営戦略に基づき、適正な料金水準の改善に努めていきます。  
令和2年度より地方公営企業法の適用を予定していることから、本市の経営状況・課題等を的確に把握し、今後とも経営強化に向けた取り組みを進め、公営企業の基本原則である独立採算制の実現や経営の健全性・効率性の改善を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。